



# なばり

2017年(平成29年) 1月10日号

主な内容

- 1~3.....だから、名張に決めました
- 4.....税の申告
- 5.....マイナンバーカード
- 7.....施設ご利用ガイド
- 8.....新春特別企画・読者アンケート

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

## 名張市の移住・定住支援の取組

# だから、名張に決めました



大阪から名張へ移住し古民家カフェを開業した内本さん。  
名張で起業・創業する人を支援する若者移住定住チャレンジ支援事業を活用して夢を叶えました。

### 移住という決断

移住は人生の大きな決断の一つです。「環境のいいところで子育てしたい」「農業をやりたい」「起業したい」など、さまざまな夢や目標を実現するため、移住という人生の大きな決断をして名張を選んだ人たちがいます。

### 空き家や空き店舗の活用を促進

市では平成27年8月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、さまざまな移住・定住支援に取り組んできました。

その一つとして、平成28年6月に空き家バンク制度を創設し、売却や賃貸希望の市内の空き家物件を登録してホームページ上で情報を掲載しています。11月末時点で5件の成約があり、空き家が活用されました。

また、創業・起業を希望する若者に空き家・空き店舗のリフォーム費用や開業資金を補助し、応援する「若者移住定住チャレンジ支援事業」を実施。2件が採択され、市外からの移住者が市内で起業することになりました。

### 名張というまちが持つ魅力

移住者が増えることは地域の活性化につながります。移住者の皆さんが感じてくれた名張の魅力を高め、豊かな自然や暮らしやすさなどを全国に発信し、市への移住・定住の促進に繋げていきたいと考えています。

### 地域活力創生室

(移住定住ホットライン)

☎63-7782

2ページへ続く

## 今年の一言

市長と市議会議長が、今年の抱負などを漢字一文字で表しました

### 名張市長 亀井 利克

誰もが支え合う共生社会の実現を目指し、それぞれのライフステージで切れ目のないサポートを行う「地域福祉教育総合支援システム」を昨年11月にスタートさせました。総合計画に掲げる「福祉の理想郷」の集大成としてこの取組みを本年はさらに進めてまいります。



そのためには、顔の見える関係づくり「ネットワーク」強化が最も重要と考えています。そうしたことから今年の一言を「網」としました。これまで以上に、市や地域、関係団体が緊密に連携し、複合的な生活課題を抱える人にワンストップで応え、地域全体で課題解決ができるそんな名張市を目指します。

### 名張市議会議長 細矢 一宏

自らの足で飛び上がるという意味を込めて「跳」を今年の一言としました。



本市のまちづくりは、「住民が自ら考え、自ら行う」ことを目指し、「地域づくり組織」による住民主体のまちづくり活動が活発化し、地域ビジョンが策定されるなど、地域の特色を生かしたさまざまな取り組みを行っていただいているところです。名張市議会も住民代表としての機能の拡大とさらなる活性化に向けての取組みが強く求められています。より専門的で複雑化している課題に取り組むため、議員の資質向上を図り、機関としての機能の拡充、議会力向上を成すための改革を進めてまいります。